

中山道本庄宿保存活用シンポジウム

現在の、ＪＲ本庄駅の北側一帯の地域は、江戸時代には中山道の本庄宿が置かれ、大いに栄えました。この地域は、古くから水運・陸路などによる交通の要衝であり、また、明治時代に入ってから養蚕や製糸産業によって大いに発展しました。

この本庄宿周辺には、そうした発展の歴史を物語る建造物・古文書・埋蔵文化財・天然記念物など多くの文化財が残されており、将来の世代に大切に保存していくと共に、その価値を広く市民に伝えていく必要があります。

今回のシンポジウムは、本庄宿や建造物に詳しい講師による講演とともに、令和７年度に実施している本庄宿に関する企画の経過報告を行い、後半には参加者を交えて今後の本庄宿の保存・活用についてのヒントを探ります。

令和７年度 本庄市文化財保存活用シンポジウム

中山道本庄宿の歴史と未来を語る

～建造物調査速報と文化財の保護・活用～

○日 時：２月１日(日) 午後１時開場、午後１時３０分開演

○会 場：本庄市役所６階大会議室

○内 容：講師による講演、建造物調査の成果速報、参加者の意見交換

○その他：事前申し込み不要・参加費無料

※ 参加者には、オリジナルの「中山道重ね押しスタンプ」のポストカードをプレゼントします。５色のスタンプをカードに押すことで１枚の絵が完成します。

○添付資料 （案内チラシ １部）

問合せ先

○本件記事に関すること 教育委員会事務局 文化財保護課 担当：的野

電話：０４９５（２５）１１８６

○広報全般に関すること 企画財政部 広報課 担当：谷田部

電話：０４９５（２５）１１５５

令和7年度 本庄市文化財保存活用シンポジウム

中山道本庄宿の歴史と未来を語る ～建造物調査速報と文化財の保護・活用～

事前申込み不要・参加無料

本庄宿に残る文化財（歴史的な建物や土木構造物、樹木など）を守りながら未来に向けて活用する方法などについて皆さんと考えるシンポジウムです。

江戸後期の本庄宿の様子や、現在もみられる歴史的な建物の特徴などについて紹介するとともに、皆さんと意見交換をしながら、文化財の良いところを発信したり、活用したりするヒントを探ります。



日時：

令和8年 2月 1日 日

開演 13時 30分
(開場 13時 00分)

会場：

本庄市役所 6階大会議室
(〒367-8501 本庄市本庄3丁目5-3)

【プログラム】

13:30 開演

13:35 講演

- 講演①「江戸時代後期の本庄宿を探る」
秋山 寛行（本庄早稲田の杜ミュージアム 学芸員）
- 講演②「現代に残る歴史的な建築物とその特徴」
梅嶋 修（長岡造形大学 建築・環境デザイン学科 助教）

14:35 休憩

14:45 町並み・建造物調査の成果速報

15:05 参加者の意見交換

15:30 閉会

参加者には、中山道重ね押しスタンプのポストカードをプレゼントします。